

# 商 況

(日本製鐵販賣旬報第117~119號より抜萃)

## 昭和13年6月中鐵鋼關係日誌

- 1日 中山鋼業所尼崎工場は大阪中山鋼業株式会社と改組す、尙取締役社長は中山半氏。
- 我外務省の嚴重なる申入にも拘らず濠洲政府は鐵鑛禁輸を正式に回答す。
- 今週の米國製鋼作業率は休日中閉鎖の關係もあり本年初頭來の低率で全能力の26.1%と前週より2.9%の激減を示す。
- 2日 棒鋼、形鋼共販組合では常務理事會を開催、指定問屋と特約店の扱量分野並口錢に關し大體次の如く決定し4都の各指定問屋組合に之が實施方を傳達す。
- (1) 指定問屋と特約店の扱量に關する標準
- (イ) 各指定問屋が特約店に卸賣をなす數量と自ら實需者へ販賣する數量との割合は各店最近の實績を尊重すること。
- (ロ) 指定問屋組合は定尺市販品に關しては引受全數量の約半數を特約店に卸賣することを標準とす。
- (2) 口 錢
- (イ) 指定問屋及特約店の口錢は  
指定問屋—建値に對し(1~2.5%)—特約店—建値に對し(1~6%)—小賣(1日1契約1t以内)。  
指定問屋—建値に對し(4~5.5%)—實需。特約店—建値に對し(1~3%)—實需。
- (ロ) 共販建値は指定河岸着艇中渡なるが故に其以後の運賃及之に附帶する諸掛は口錢の外に實需を加算して販賣す。
- 鋼板共販組合常務理事會開催、指定問屋と特約店の扱量分野と口錢、(形鋼棒鋼共販に同じ)指定シーヤと特約シーヤ扱量並に口錢に關して次の如く決定し夫々之が實施を傳達す。
- (1) 指定シーヤが特約シーヤに販賣する數量の割合は全數量の3割見當とす。
- (2) 口 錢  
指定シーヤ實需向は共販切板値段に迄加算することを得。  
指定シーヤが其比率中に含まれたる特約シーヤの耳付を該特約シーヤに販賣する時は1%とす。
- 日本鋼材株式會社の代表取締役林甚之丞氏は辭任し後任は坂田幹太氏。
- 5月中の東京卸賣物價は4月に比し重要商品45品目中騰貴25品、保合17品、低落3品。
- 大本營陸軍部發表本年2月下旬より5月下旬に於ける我戰勝の礎石となりし將兵は戰死2,130名戰傷8,586名。
- 3日 杉山大將は軍事參議官に親補せられ板垣中將陸軍大臣に就任す。

- 米國1級屑鐵相場はピツツパーク消費者渡11弗25仙~11弗75仙(前週と保合)同輸出向紐育解渡10弗50仙~11弗(前週10弗75仙~11弗25仙)。
- 6日 東京伸鐵工業組合所は6、7月賣出値段は据置。引受問屋の割當も過去の販賣實績を基礎として決定、賣出數量は1,000t。
- 神戸製鋼所は重役會にて同社資本金4,500萬圓を9,000萬圓に増資を決定すと。
- 我軍開封を占領す。
- 7日 日本鋼材聯合會では第16回常務委員會開催次の事項を決定す。
- 自家用鋼材配給に關して配給を受けんとする場合は其新增設の計畫内容を明にし前年の10月末日迄に翌年間の使用豫定數量を所定の様式に依り聯合會に届出づを要し會は鐵鋼統制協議會の割當數量に基き此届出數量を査定し1ヶ月乃至3ヶ月間に使用すべき數量に對する證明書を發行す。
- 輸入屑鐵共購會例會開催。現在製鋼原料懇話會加盟17社の共購會加入を承認し、輸入屑鐵に關し製鋼業者の一元的購入機關の成立を見る。新加入社は日本製鐵、東京鋼材、大阪製鋼、日曹製鋼、中山製鋼、大和製鋼、尼崎製鋼、吾孀製鋼、宮製鋼、住友金屬、大阪製鐵、壽重工業、富永鋼業、日本亞鉛鐵、日本特殊鋼、特殊製鋼、大同電氣製鋼、理事長は從來通り中松日鐵常務。
- 8日 本日漢堡よりの入電によれば、歐洲カルテルは存續する事に決定す、其詳細及建値に就ては本月中旬に開かれる次回協議會に於て發表さるゝ筈なりと。
- 10日 京漢線に向ひ前進中の我部隊に鄭州南方にて京漢線を遮断す。
- 5月中東京卸賣物價指數は248.9で前月より9厘方の騰貴、調査品目110品中騰貴42品、低落21品、保合37品。
- 米國の1級屑鐵相場は前週と保合。レール屑物相場は輸出向ボストン貨車渡9弗50仙(前週10弗)

### 6月上旬爲替相場

區分	月	1	2	3	4	6	7	8	9	10
對英	日	1/2-0	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	日	28-3/8	28-1/8	"	28-7/8	23-13/16	"	28-7/8	"	"

- 10日 八幡製鐵6月購入の屑鐵建値は特級115圓、1級103圓、二級90圓。
- 鐵鋼聯盟は丸ビル7階(電話丸ノ内(23)1724)に移轉し、日本鋼材聯合會調査部は聯盟の調査部に包括さる。
- 11日 日本亞鉛鐵板工業組合は日鐵販賣部長を理事長に推戴す。
- USスチール會社發表。5月中の同社鋼材引渡高は465,000tで前月に比し約37,000tの減少。
- 13日 年來の懸案たる鐵鋼自給國策に即應せんが爲、日滿一如の

綜合生産計畫を確立して、増産の實現を期すべく日本製鐵及滿洲側鐵鋼生産の販賣統制機關たる日滿商事の協議の結果、兩社の共同販賣機關として日滿鐵鋼販賣株式會社の新設を決定す。尙同社の要綱は本店東京市に置く、同社の業務は日本製鐵の生産せる銑鐵及日滿商事の取扱ふ銑鐵の賣買並に受託賣買、此以外の銑鐵の賣買並に受託賣買並に之等に附帶する業務。存立期間は設立の日より10年。資本金は2,000,000圓とし之を40,000株に分ち1株の金額を50圓とす、第1回の拂込は1株に付12圓50錢。役員取締役社長日鐵濠澤常務、專務取締役日滿商事三溝常務、取締役日鐵古井販賣部長、日滿商事寺田囑託、監査役日鐵石津販賣次長、日滿商事出光鐵鋼課長。

○棒、形、板の三共販の聯合理事會の席上商工省の開陳せる證明書配給並最高價格實施に關する具體的方針は大體次の如し。

7月1日より實施する證明書配給(本旬報掲載商工省令第33號参照)に對する監督指導は各共販が責任を以て之に當る。

過般共販にて決定實施せる問屋、特約店の新口錢の履行を強制し違反者には指定、特約の資格剝奪、配給停止の處分を講ずべく又地方廳にてはその監督取締方に當り必要により暴利取締令の發動による制裁をなす。

7月1日より實施さる中、小工業者の工業組合に對する鐵鋼の數量の割當は各地方廳が之を行ふ。

○全國鋼材商業組合では事務所を日本橋區茅場町清水ビル3階)電話茅場町(66)3725)に決定、本日より事務を開始す。

○我軍は安慶を奪取す。

○敵は黃河堤防の決潰をなす。

14日 米國屑鐵相場はピッツバーク渡しt當10弗25仙乃至10弗75仙(前週10弗50仙—10弗)輸出向は紐育解渡10弗50仙—11弗(前週保合)。レール屑物は輸出向ボストン貨車渡9弗—9弗50仙(前週保合)

○國際鐵鋼カルテルは存続期間を1940年末迄延長する事に決定。

15日 今週の米國製鐵作業率は27.1%で前週より0.9%の増加。

○5月中(佛國のみ4月)内外卸賣物價指數次の如し(昭和8年を100とす△印低落)

	5月	前月比	同上%
日本	138.3	1.2	0.8
滿洲	144.3	10.8	8.0
英國	114.6	△ 1.7	△ 1.4
米國	118.5	△ 0.3	△ 0.2
佛國	159.5	0.5	0.3

16日 鐵力板共販では指定商各社代表東、西、名古屋指定問屋代表の合同協議會開催、指定問屋組規約を承認決定す。

○本日=ニューヨークより入電の鐵鋼値段(保合)次の如し(爲替—25%)

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
M. S. Bars (Base size)	\$ 52.416	¥ 183.74
" Angles ( " )	50.624	177.55
" I Beams ( " )	"	"
" Channels ( " )	"	"
" Plates ( " )	"	"
Sheet Bars (Common size)	37.65	132.81
Billets ( " )	37.75	"
Ingots ( " )	35.35	124.87

○ロンドンより入電の鐵鋼値段(保合)は次の如し。

	per 2,400 lbs	per 1,000 kgs
Cleveland No. 3 pig Iron	£ 6-12-0	¥ 115.00
Continental M. S. Bars	8-17-0	154.52
" Angles	"	"
" I Beams	"	"
" Channels	"	"
" Plates	\$ 48.00	171.21

尙英國に於ける5月末熔鐵爐は4月末より4基を減じ111基。

17日 7~9月渡共販銑鐵建値は81圓据置に決定。

○北支臨時政府並に中支維新政府は蔣政權に對して和平態度の聲明を發す。

○6月分東京小賣物價指數は196.9で前月より4厘方低落す。

○5月中全國生計費指數は205.1で前月より0.1方の購買。

18日 米國の屑鐵相場は本初來軟化傾向の一途をたどつてゐるが、最近漸く供給薄の傾向を生じ、底意駭りを示すに至り本月のピッツバーク渡、1級屑鐵相場は、t當50仙方引上げられ、10弗75仙乃至11弗25仙を唱へ、11弗50仙で商ひの出來たものもあつたと。

20日 商工省は省令第33號を以て鐵鋼配給統制規則を公布す、該省令の要旨は來る7月1日以降は鐵鋼(普通銑鐵及普通壓延鋼材)を使用する事業を營む者が其の事業の爲に鐵鋼を購入せんとするときは當該事業の主務官廳、地方長官又は統制團體よりの鐵鋼割當證明書の交付を受け該證明書引換でなければ鐵鑛製造業者又は販賣業者(ジャリング業者を含む)は鐵鋼の販賣をなすことを得ず。

但し軍用の工作物(建築物を含む)の築造用鐵鋼又は軍需品製造工場にして陸軍大臣若は海軍大臣の認定を受けたる軍需品製造用鐵鋼の購入は此の例外とす。又統制團體の發行する證明書は商工大臣の定むる鐵鋼割當數量の限度内たるを要す。

尙、中小工業以外のものに關する鐵鋼使用證明書の發行は6月1日より實施され商工省より全國鋼材商業組合に之が協力方を依頼せる通達が発せられた。

○本日ハンブルグよりの入電によれば歐洲鋼材カルテルは1940年末迄存続する事に決す。建値の引下げは行はずと宣言せし一般には來週幾分か引下げが行はるものと期待してゐると。

		6月中旬爲替相場							
區分	月日	11	13	14	15	16	17	18	20
對英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-1/2	29.0	28-1/2	29.0	28-1/2	29.0	"	28-1/2	"

20日 大阪伸鐵工業組合では全員協議會を開き大體次の如き事項を決定した(イ)7月1日以降組合員各自の材料買入を認めず全部組合にて共同購入をなし材料なき時は休業す(ロ)共同購入は組合より指定したる指定商が2~3%の口錢により取扱ふ(ハ)此はスクラップを除き亂尺及び短尺物全部を統制す。

22日 製鋼原料懇話會例會では屑鐵建値を据置と決定(特級102圓1級97圓2級87圓)

○日鐵では臨時建設局事務室を日本橋區兜町1丁目8番地東株ビル4階(電話茅場町(66)6452)に移轉す。

○濠洲政府は鐵鑛禁輸令について既定方針を堅持する意向な

るも特に今年度契約の對日(5月19日迄に契約を了したるものにして今年末迄に積出されることを條件とし89,094tの對米(約55,000t)に付輸出許可をなしたりと。

○國民政府佛國銀行團間に鐵道用材、現銀計150,000,000法の鐵道借款契約成立し巴里にて調印を了したりと。

23日 日鐵では定時株主總會開催、第9期(自昨年10月至本年3月)の次記利益金處分案を可決す。

當期純益金44,392,946圓49錢、前期繰越金1,269,215圓31錢、計45,662,161圓80錢此の處分として法定積立金2,210,000圓、特別積立金28,500,000圓從業者退職手當給與基金1,000,000圓、株主配當金12,593,735圓(即1株に付き年7分の割)後期繰越金1,348,426圓80錢。

○線材、棒鋼共販理事會開催次期賣出値段は夫々据置と決定。

○獨逸鐵鋼協會發表5月中の銑鐵生産高1,545,000t、同鋼は1,896,000t。

○政府は戦局の進展に伴ふ事態に鑑み從來より一層高度なる統制下に物資需給計畫を確立する要を認め爲替相場の堅持、輸出振興物價騰貴の抑制一般物資の消費節約等諸方策の實行を期し聲明を發す。

○政府は鋼材、銑鐵をはじめ33品目につき、一般國內需要につき使用制限を強化すべき資源を發表す。

24日 鋼板、形鋼共販理事會開催建値は夫々据置と決定。

○大阪に於ける薄板共販指定問屋28店が組織する大阪薄板問屋組合の創立總會開催、理事長大阪鋼材株式會社(山本元三氏)

○拓務大臣大谷尊由氏は北支開發會社總裁に内定し後任は宇垣外相兼任となる。

25日 USスチール會社の最大の子會社たるカーネギー・イリノイ製鋼會社は鋼材價格を2弗50仙乃至8弗50仙の大幅値下を發表す。(現在の市價より6~17%の値下にして大體1928年以前の相場と同水準なりと)之に次いで獨立會社たるパブリック・スチール會社及インランド・スチール會社も値下げし又コーク・アイアン會社は銑鐵價格を、當3弗方値下げせりと。

○陸工省物資調整局では内地屑鐵統制對策官民懇談會を開き内地屑鐵統制の具體策を協議し大體次の如き要旨決定すると(イ)内地發生屑鐵全般を統制對象とし内地屑鐵の一元的共同販賣を實施する爲内地主要屑鐵商を以て日本屑鐵統制株式會社を設立す。(ロ)屑鐵の配給割當統制團體として供給者需要者、官廳側委員により鐵鋼統制協議會の統轄下に屑鐵協議會を結成す。(ハ)各消費部門の割當は鋼塊組合特殊鋼協議會等が屑鐵統制會社と連絡をとり決定す。

27日 獨逸經濟省は日獨防共協定の根本方針を體し支那向軍需品輸出契約に對し解約方を命ず。

28日 米國ベスレーム・スチール會社もカーネギー・イリノイ會社と同様鋼材價格を値下げし、南部の銑鐵製造業者も、當4弗方の値下をせりと。

○米國商務省發表5月中銑鐵輸出高は34,000t、同屑鐵は374,000tとす。

29日 商工省は告示第一六八號を以て鐵鋼配給統制規則第2條の規定により社團法人造船聯合會以下85團體を指定す。

同告示第一六九號を以て鐵鋼配給統制規則第九條の規定に因り普通銑鐵(鑄物鐵管を含む)に關する鐵鋼割當證明書については日本製鐵株式會社、普通壓延鋼材に關する鐵鋼割當證明書に付ては日本鋼材聯合會を指定す。

○米國屑鐵相場は需要旺盛勞々供給逼迫の形勢により最近反撥好勢に轉じピッツバーク渡12弗50仙乃至13弗となりたり。

○米國今週の製鋼作業率は28.7%と見積られ前週より0.7%の微増、

○鐵鋼聯盟理事會では次記8社の入會を承認す、東京製鐵、高砂鐵工、東洋鋼板、中山鋼業、大阪中山鋼業、大阪薄鐵板、東京シャリング、扶桑鋼業。

○商工省は輸出入臨時措置法に基き省令として綿製品加工制限規則、綿製品製造制限規則等公布即日施行す。

6月中旬爲替相場

月	區	20	21	22	23	24	25	27	28	29	30
日	分										
對	英	1/2	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對	米	28-1/2	"	28-7/8	"	28-1/2	"	"	29-7/8	"	"

海外情況

ブラツセル市況 5月12日發信のブラツセルよりの報告は、ベルギー鐵鋼市場の情況に就いて次の如く報じてある。

復活祭の休日以來の市場の閑散状態は、未だ消滅してゐない。引合の數及び大ききは幾分減少した。取引は、3月中より活潑であることは確かであるが、而も4月の前半には及ばない。事情斯くの如くであるが、更に今後の市場の動向に就いても、様々に議論されてゐる。新しく第2の下押傾向が來ようとしてゐるのだろうか。メーカー側は一般に、將來の動向を決定する鍵は、カルテルの更改問題に在る、といふ意見を有てゐる。けれども一部少數の者には、此度の佛フランの減價の結果も、未だ今後に表はれる可きものと信ぜられてゐる。然しながら、此のやうな見解(特にベルギーの經濟に就いて)を探てゐる人々すら2、3月頃に表はれたやうな不況が再び來ようとしてゐるのだとは、餘り思て居ないやうである。昨年の半ば以降の買不足の結果として、可成の必要品をカバーしなければならぬに相違ない、と見てゐるからである。メーカー及び輸出業者の大部分の見解としては、カルテルの更改以前には、眞の取引の状態は市場に反映しないし、又市場の將來の動向を正しく判断する爲にも、カルテルの再建を俟たねばならないと考へられてゐる。

カルテルの更改に就いては、不幸にして未だ何等の報導に接しない。然しポエル製鐵會社に關する難問題が、まだ解決してゐないといふことは確かのやうである。それにも拘らず、此の問題の最後の落着は疑ふ餘地がない、といふ意見が支配的である。

コジベルの帳簿は、5月1日乃至9日の期間に於て、19,000tを記録してゐる。因に先月の同一期間に於ては、それは22,500tである。各種生産品の品種別註文高は次の如くである。

半	製	品	5,500t
形		鋼	1,200 "
棒		鋼	7,800 "
厚	中	板	4,100 "
黒		板	400 "

銑鐵 英國の銑鐵輸入税(多分33 1/2%)の再設定が、差し迫て發表されたので、此の部門は弱勢である。鑄物用3號銑は、先週は66-67志(紙)FOBであつたのが、65志FOBアントワープに下た。此の價格にスコットランドまでの運賃と33 1/2%の關稅

を加へれば、CIFグラスゴーでは約96~100志になる。そして同地に於けるクリーヴランド鑄物用3號銑は112志である。そこで問題は、スコットランドの鑄物業者が、10乃至12志の差で以て、大陸銑を選ぶか否かといふ事である。製鋼用銑は今週は、450白フランFOBアントワープであつた。

半製品 本月9日迄に記帳の5,500tは、主として、第2,4半期分の普通の輸入割當に基く所の、英國向輸出注文である。

棒鋼 滿洲國から5,000tの注文(主として棒鋼)はアメリカの競争の爲に逸し去た。然し會合の終り頃になつて、2,500tの注文が、滿洲國からカルテルに與へられるといふ噂が擴まつた。南アメリカからの注文は稍々減少した。然しバルティック諸國、スカンデナヴィア諸國、及びポルトガル、近東諸國は幾分規則的に注文を發してゐる。尤もその注文は大して大きなものではない。殆んど全部のベルギーの再壓延業者は、1,2の商會(主としてジエマツプ)を除いては、少くとも或る方面に向けるものに對して、1乃至2金志の値引を許してゐる。

三番アイアンバー 相場は平均6,5,0(紙)FOBアントワープである。然し英國との取引の形跡はない。最近インドからの申込が幾分入た。だがそれは餘り安すぎた。

形鋼 注文稀少、輸出物は5月初週中僅600tにししか上らなかつた。スタンダード・セクションの工形鋼小量が9,8,7(紙)CIFブエノスアイレスにて、又インディアン・セクションが9,3,0,CIFマドラスにて賣られた。

フープ ホット・ロール・フープは、依然5,10,0(金)FOBの公定價格通りの相場である。値引されてゐる形跡はない。1/4" B.G.24のコールド・ロール・フープは17,10,6(紙)FOB, B.G.28は18,16,0,FOB,である。

計畫中のコールド・ロール・フープのカルテルの全メンバーが、問合せ期間たる1937年前半期に就き、要求された統計資料を送た。その結果に基き、次のカルテルの會合に於て、輸出割當が多分決定されるだらう。

厚,中板 厚板の取引は普通、中板は注文少し。造船用鋼板に對するオランダからの新しい引合が期待されてゐる。價格は公定價格通り。

黒板 此の部門は買氣甚しく減少してゐる。だがメーカーは値引しようとはしない。引渡期限は一般に3週間である。

亜鉛鍍板 約3週間前より始まつてゐる需要の小休みは、今尙續いてゐる。メーカーは値引しようとする氣運に益々向ひつゝある。そしてメーカーの大部分は、公定價格より20志(紙)下で相場を建てゝゐる。然しある場合には、取引はカルテルの建値の25志下で行はれたときへ言はれてゐる。

線材 需要は徐々に恢復し續けてゐる。相場は公定價格通りである。即トーマス鋼は、FOBアントワープで次の通りである。

5~5.5 mm	5, 2, 6 (金)
6~8 "	5, 5, 0 "
8.5~13 "	5, 7, 6 "

平爐鋼に對するエキストラは12志6片である。

米國に於ける銑鐵及鋼の生産情況 (スチール 1938, 5, 9)

銑鐵 4月の銑鐵の生産は3月に比較して、總生産高に於ても、1日の平均生産高に於ても、稍々減少を來した。一方熔鑄爐の操業は、もつと激しい影響を受けた。操業を中止した熔鑄爐は11を數へ、その爲に活動中の爐數は、1934年末以來最小の數に下

た。

4月の1日平均生産高は46,267tであつて、3月の1日平均生産高たる47,426t噸に較べれば、量に於て1,159t、率に於て2.5%の減少である。これは、1日平均生産高33,161tであつた1934年12月以後の何の月よりも低く、1月平均20,786tを産したに過ぎない1933年4月以後、4月としては最小である。

4月の總生産高は1,388,008tであつて、これは、3月の1,470,211tに較べて、82,203t、或ひは5.6%の減少である。此の總生産高は、2月の1,306,333t以後最小のものであり、4月としては、1933年4月の623,606t以後最小である。

本年4月までの生産高總計は5,609,414tであつて、1934年の始め4ヶ月の13,110,853tに較べて、7,501,439t、或ひは57.2%の減少である。

銑鐵月別總生産高表 (單位t)

	1938	1937	1936
1 月	1,444,862	3,219,741	2,029,304
2 月	1,306,333	3,020,006	1,838,932
3 月	1,470,211	3,470,470	2,046,121
4 月	1,388,008	3,400,636	2,409,474
4ヶ月計	5,609,414	13,110,853	8,323,831
5 月	—	3,545,180	2,659,643
6 月	—	3,115,302	2,596,528
7 月	—	3,501,359	2,595,791
8 月	—	3,616,954	2,711,726
9 月	—	3,417,960	2,728,257
10 月	—	2,891,026	2,991,794
11 月	—	2,007,031	2,949,942
12 月	—	1,503,474	3,125,192
總計	—	36,709,139	30,682,704

銑鐵月別1日平均生産高表 (單位t)

	1938	1937	1936	1935
1 月	46,608	103,863	65,461	47,692
2 月	46,655	107,857	63,411	57,675
3 月	47,426	111,951	66,004	57,120
4 月	46,267	113,354	80,316	55,719
5 月	—	114,360	85,795	55,986
6 月	—	103,843	86,551	51,949
7 月	—	112,947	83,735	49,043
8 月	—	116,676	87,475	56,767
9 月	—	113,932	90,942	59,009
10 月	—	93,259	96,509	63,818
11 月	—	66,901	98,331	63,876
12 月	—	46,499	100,813	68,242
平均	46,745	100,573	83,832	57,644

生産能力と生産高との關係に就いて言へば、4月の操業率は平均33.4%である。3月は34.2%、1月、2月は共に33.6%であつた。

4月30日現在操業中の熔鑄爐數は79であつて、3月末操業中の90に比して、11の減少を示してゐる。此の數は、操業熔鑄爐67であつた1934年12月以來最低のものであり、又4月といふ月としては、操業中のもの僅に48を數へたにすぎない1933年4月以後最低である。

鋼塊 アメリカ鐵鋼協會の調査によれば、4月に於ける鋼塊生産高は1,925,166tであつて、生産能力の33.44%に相當する。これは、3月に於ける2,011,840t(生産能力の33.84%)に較べて、43%の減少を表はしてゐる。1937年4月には、生産高は5,070,445tを示し、生産能力の90.24%であつた。此の月に較べれば、今年の4月は、實に62%の減少を來してゐる。

4月の生産高は3月よりは減じてゐるとは云へ、昨年12月よりは多く、又今年の1月及2月よりも多い。

今年の4ヶ月間の總生産高は7,372,517tであり、1週間平均429,884tである。1937年の同期間に於ては、總生産高は19,425,414t、1週間の平均生産高は1,132,683tであつた。

月別鋼塊生産高表(單位t)

	全生産高	生産能力との%	週平均生産高
1938年1月	1,732,266	29.14	391,031
2月	1,703,245	31.73	425,811
3月	2,011,840	33.84	454,140
4月	1,925,163	33.44	448,757
4ヶ月計	7,372,517	—	429,884
1937年1月	4,724,894	81.43	1,066,567
2月	4,413,832	84.25	1,103,458
3月	5,216,243	89.90	1,177,481
4月	5,070,445	90.24	1,181,922
4ヶ月計	19,425,414	—	1,132,683
5月	5,149,851	88.76	1,162,495
6月	4,183,763	74.46	975,236
7月	4,556,001	78.48	1,030,763
8月	4,875,671	83.79	1,100,603
9月	4,298,354	76.46	1,004,283
10月	3,392,691	58.31	765,844
11月	2,153,781	38.22	502,047
12月	1,472,241	25.36	333,086
總計	49,507,766	72.39	499,516

(註) 上の表は、1936年に於て全體の98.29%を成してゐた諸会社の報告から計算されたものであつて、平爐及轉爐の合計である。尙本稿に於てとあるのは總てgross tonである。

#### ブラッセル通信

(5月14日發信) 市況は別段變化なく、一般にカルテル更改問題に関心を有し輸出新規商談は當用口のみ取引に限られ居り、4月末滿洲向鐵筋コンクリート用10,000t5月に入りてよりは滿洲、日本、和蘭等よりの入註を見る程度と云はれ居候、カルテル白耳義グループは愈々來る18日迄に割當量を經て24、5日の羅馬に於ける國際大會の提出の要に迫られ居り、大體一致を見ることに信ぜられ候。

4月中の白耳義製鋼量151,600t(3月中165,500t)と發表せられ候。

ブラッセル市況 5月中旬より5月末までのブラッセル鐵鋼市場の商況は、大體に於て閑散であつたと言へるだらう。5月1日乃至28日のコジベル受註高は76,500tであつて、これを2月の51,200t及び3月の50,200tに較べれば可成多いが、4月の81,000tには少々足りない。尤も此の數字は28日までの受註高ではあるけれども、5月中の總計も恐らく4月の數字にまでは達しないだらう。2、3月中の激しい不況から幾分か立直した情勢は、崩れはしなかつたにしても、それ以上に抄々しい進展は見せなかつた。

その重要な原因の一つとして、カルテル更改問題の依然行惱んでゐる事が挙げられる。近來註文の手控を續けて來た買手は、相當多量の商品をカバーしなければならぬ筈であるのに、而も尙市場には、期待されてゐる程の需要が表はれない。この事は結局、買手の方では、カルテル更改後の新事態を見るまで、取引を差控へてゐる事に原因してゐる、と見る向が多いやうである。カルテル更改問題の前途に就いては、様々の憶測が行はれた。買手の中には、カルテルが消滅し、從て自由競争の状態に於て價格の暴落するやうな

事態に立到らぬとも限らない、と考へるものもあつた。其處までは行かないとしても、假りにポエル製鐵會社と他のベルギー・グループとの協調不可能から、ポエルを除外してカルテルが再結成されるとしても、此の新しいアウトサイダーとの競争上カルテルの建値は引下げられるだらうし、更に一步を進めて、總てのメーカーの希望通り、現存の儘のメンバーでカルテルが存續するやう圓滿に協調が遂げられるとしても、一般物價に比して上位にある現在のカルテル建値は、訂正引下げられる事となるだらう。註文を手控へてゐる買手側の心裡は、恐らく此のやうなものであらう。然しながら、建値の引下を希望してゐるのは、單に買手ばかりではない。メーカー側も亦それを希望してゐるやうである。ベルギー及びルクセンブルグのメーカーは、今や生産能力の40%或ひはそれ以下まで操業を短縮して居り、今後夏潤れ時に入て操短の度が加はるとなれば、從て單價は益々上り、從て又アメリカのアウトサイダーとの競争は益々不利になるわけである。だからしてメーカー側が、價格の引下によつて需要を喚起し、操業率の増加、單價の切下、といふ風にして、此の不況を切抜けようと欲してゐるとしても當然であらう。尤も、何の品種の價格を何の程度まで引下げるといふ事に就いては、各加盟國によつて種々事情の相違もあり、意見の對立は已むを得ないことであらう。兎に角以上のやうな譯でカルテル更改問題は、來る可き鋼材の新價格標準と絡み合て、メーカー側にも買手の側にも大きな關心を有たれてゐる。

なほカルテルの問題の外に、歐洲の政情不安及び經濟情勢の將來に對する不安等が、取引の不活潑の原因を爲してゐることも疑へぬ事實である。

銑鐵 英國の銑鐵關稅の設定によつて、ベルギーの銑鐵輸出が大きな影響を受けた事は當然である。而もそればかりでなく、英國の市場から閉め出されただけのフランス銑鐵が他の市場を求めて居り、此の方面からの影響をも受けて、銑鐵價格は轉落を續けてゐる。第3週に輸出價格65志(紙)を維持してゐた鑄物用3號銑は、第4週には62~63志に、6月始めには更に60志まで落ちた。鑄物用ヘマタイトは、800~825フランFOBアントワープより800フランに、更に790フランにと、下落してゐる。

半製品 輸出の不振は甚しく、28日までの受註高24,500t中23,000tは國內向である。

棒鋼 スカンヂナヴィア及び極東向輸出の減少は著しく、今年の第1、4半期を昨年同期に較べれば、次のやうな數字になる。

	1938年	1937年
スエーデン向	2,355t	14,727t
ノールウェー "	3,406 "	8,943 "
支那 "	2,411 "	32,345 "
日本 "	1,488 "	5,672 "

英領印度向及び英本國向輸出も減少してゐる。

たゞ南米からの註文は可成満足すべき状態にあり、價格に就いては再壓延業者が1、2金志の値引を許してゐる外は、大體公定相場を維持してゐる。

3番アイアンバー 6、10、0志(紙)FOB前後から、月末や下て6、7、6志。

形鋼 28日迄の5月受註高合計は6,000tで、4月合計より10~12%の減少。價格は建値維持。

帶鋼 ホット・ロール物は、大口の註文はないが、小口註文はやゝ規則的にある。メーカーは公定相場通り5、10、0志(金)を

唱へてゐるが、實際の賣値は幾分低いではなからうか。

厚、中板 カルテルは 3/8吋轉爐鋼板の和蘭向公定相場を、船送アムステルダム、ロッテルダム渡2フロリン 50 下げの 95 フロリンに引下げた。多分米國アウトサイダーの平爐鋼板の競争に對抗する爲であらう。

黒板 フランスのメーカーは公定相場に對して大幅の値引を爲してゐる。5 月末6月初めにかけては此の値引は 35~40 志(紙)に達し、ベルギーの再壓延業者も 30 志内外の値引をしてゐると報ぜられてゐる。

亜鉛鍍板 引合は大部分 100t 以下である。注文は少く、公定相場より 25~30 志(紙)下値でも引受けられる可能性がある。

ブラッセル通信

(5 月 27 日發信) 其後、市況は變りなく、一般買控へ、急を要する當用口のみ取引せられ居り、實需要は旺盛なるも發註見送りの姿なるは、一に關心は目睫の間に迫れる カルテル更改問題に向けられ居候爲に外ならず、昨今羅馬に更改條件協議のカルテル委員會開かれ居り候へ共、頗る行惱との報有之候。白耳義會員内の割當量さへ一致を見ず、其儘代表は羅馬へ出發せる有様にて、目下彼地議事進行は一に白耳義委員の不一致のため停頓、爲めに會期延長との入報あり。然るにカルテル満期は 6 月末なれば、更改決定に至らざるときは、會員メーカーは 7 月 1 日より自由行動を許さるゝと云ふ次第に御座候。

5 月 21 日迄の 3 週間 Cosibel 入註 63,500t、内 36,500t 内地向 27,000t 輸出向と發表せられ候。

紐育通信 (5 月 26 日發信)

1. 鋼塊

本年 3 月 24 日通信以後に於ける米國製鋼作業率次の通り

3 月 28 日	發表	35.7 %
4 月 4 日	"	32.6 "
4 月 11 日	"	33.7 "
4 月 18 日	"	32.4 "
4 月 25 日	"	32.0 "
5 月 2 日	"	30.7 "
5 月 9 日	"	30.4 "
5 月 16 日	"	30.7 "

因に本作業率なるものは、American Iron and steel Instituteにて統制の上毎週月曜日正午該インスティテュートより其週スケジュールとして發表せらるゝものにして、無論地方的には作業率に變動あり、上記のものは全米の平均率なり。而して本年 1 月以降の實際生産高と昨年とを對比すれば次の通りなり。

1937年	實際生産高		スケジュールに依る生産高		%
	平爐	轉爐	月	週	
1 月	4,349,024	292,209	4,718,436	1,065,110	81.32
2 月	4,011,852	331,629	4,414,699	1,103,675	84.27
3 月	4,730,943	403,400	5,218,526	1,177,952	89.94
第1クォーター 1月より3月迄	13,091,819	1,027,238	14,351,461	1,115,977	85.20
4 月	4,600,418	388,783	5,070,867	1,182,020	90.25
1938年					
1 月	1,604,363	99,991	1,732,764	391,143	29.15
2 月	1,550,772	125,493	1,703,726	425,932	31.74
3 月	1,822,398	157,737	2,012,406	454,263	33.85
第1クォーター 1月より3月迄	4,977,533	383,221	5,448,896	423,709	31.58
4 月	1,762,315	131,644	1,925,166	448,757	33.44

即ち本年第1クォーターに於ける鋼塊生産量は、昨年の 85.20 %より本年は一轉して 31.58 % に轉落し、其不況の如何に深刻なるやを察するに餘りあり。聞く處に依れば、全米鋼塊生産高の 90 % を占むる 19 會社の、本年第1クォーターに於ける不足金 5,639,282 弗に達し、純損失金 5,075,363 弗を計上の已むなきに至れりと云ふ。

(因に該 19 社の資本金は總計 3,753,207,150 弗にして、昨年は最終クォーターに於て 8,793,574 弗。又第1クォーターに於て 61,848,351 弗の利益を擧げ居たるものなり。)

而してこの 19 社は年間鋼塊生産能力 61,100,200t なるを以て、此能力に對しては 1t 當 8 仙の損失となるべく、其クォーターに於ける生産能力に對しては 32 仙の損失となる譯なり。然し實際に於ては、同期間中 31.48 % の操業にて鋼塊實際生産高總計 5,448,896t に付、この實際生産高に對しては 1t 當 1 弗 35 仙の損失とるべし。

2. 銑鐵

銑鐵の生産状態を見るに次の通り

	1938年	1937年
1 月	1,429,085 (1日平均 46,100)	3,211,500 (1日平均 103,597)
2 月	1,298,268 (同 46,367)	2,999,218 (同 107,115)
3 月	1,452,487 (同 46,854)	3,459,473 (同 111,596)
4 月	1,376,141 (同 45,871)	3,391,665 (同 113,055)

(因に昨 1937 年に於ける年間生産高 36,611,317t にして、1 日平均 100,305t の生産なり)

之れによつて見るときは、本年の生産高は昨年の半分にも達せず、殊に 4 月に於ける 1 日平均 45,871t は、1934 年 12 月 (1 日平均 43,592t) 以來のものなり。而して銑鐵の最近に於ける市場値段を見るに次の如し。

Prices of Pig Iron

Per Gross ton	May 10'38	May 8'38	April 12'38	May 10'37
No. 2, Fdy, philadelphia	\$ 25.84	25.84	25.84	25.76
No. 2, Valley furnace	24.00	24.00	24.00	24.00
No. 2, Southern Cincinnati	23.89	23.89	23.89	23.69
No. 2, Birmingham	20.38	20.38	20.38	20.38
No. 2, Foundry, Chicago	24.00	24.00	24.00	24.00
Basic, del'd eastern Pa.	25.34	25.34	25.34	25.26
Basic, Valley furnace	23.50	23.50	23.50	23.50
Malleable, Chicago	24.00	24.00	24.00	24.00
L. S. charcoal, Chicago	30.34	30.34	30.34	30.04
Ferromanganese,	102.50	102.50	102.50	102.50

然も此市場値段たるや、製鐵業者として大統領の産業政策に對する反對氣勢もありて無理にも此値段を公表し居るものにして、賣行不振の原因は寧ろ此高値維持の方策にありときへ極言するものあれども、事實に於ては割戻乃至運賃諸掛等の計算關係を口實として可成の割引を實行しつゝある。

3. 4 月中の鐵鋼輸出狀況

4 月中に於ける米國鐵鋼製品の輸出(屑鐵を除く)は 179,250t (此價格 12,061,586 弗)にして、3 月中の輸出高 188,235t (此價格 13,991,641 弗)に比するときは、8,985t (此價格 930,055 弗)の低下を示すに過ぎざれども、之れを昨年 4 月の輸出額 255,704t (此價格 15,855,175 弗)に比するときは、數量に於て 29.9 %、價格に於て 23.9 % の低下なり。

而して此の内日本向輸出は最も重要なものにして、總計 53,723t (3 月中 47,247t 昨年 4 月中 55,495t) にして其内譯を示せば次の通り

銑	鐵	41,474 t
ティンプレート		4,067 "
スタイルバー		2,282 "
ワイヤード		2,146 "
鋼塊		1,753 "
其他		2,001 "

因に廣東向として輸出せられたるものは、4月中 11,857 t (3月中 10,253 t, 昨年4月中僅に 1,818 t) にして、其重なるものは厚板の 8,408 t, レールの 1,990 t なり。而して本年1月乃至4月に於る總輸出額は、昨年そのそれに比して遜色なく、却て3割方の増加を示せり。即ち次の如し

## First four months (in tonnage)

	1938	1937
Pig iron	157,210	83,059
Steel ingots, etc.	67,931	18,282
Plate	83,646	81,197
Black steel sheets	72,888	74,285
Tin plate	67,309	98,037
Steel bars	57,351	35,793
Structural shapes	44,405	50,196
Pipe	41,383	47,271
Rails	36,203	37,785
Strip steel	21,404	42,477
Total	679,730 t	568,355 t

## First four Months (in dollars)

	1938	1937
Tin plate	\$ 3,278,094	\$ 10,219,853
Black steel sheets	6,126,564	5,401,398
Plate	4,611,102	3,930,126
Pipe	4,410,461	4,358,241
Steel bars	3,856,046	2,394,421
Ingots, etc.	3,380,383	675,861
Pig iron	2,891,871	1,747,233
Shapes (structural)	3,084,383	2,870,985
Wire	2,688,203	3,547,943
Galvanized sheets	2,065,195	1,963,206
Total	\$ 41,392,302	\$ 37,109,267

## 4. 歐洲スタイル・カルカル

去る5月11日ブラツセルにて開催の國際スタイル・カルカル聯合委員會に於て出席代表は鐵鋼界市況の一般を討議し、ベルギー側製鐵業者との協調促進方に就きても大に努力する處あり、一方ベルギー側は別に會議を催し、現存國內協定の復活を討議したる結果、結論の到達は見ざりしも、是が將來に於ける見込は充分あるものゝ如く、樂觀的な態度に出で居れり。

價格問題に關しては、5月12日に販賣執行委員が寄て協議せる模様なるもスウェーデンの如く關稅引上げに乗出しまじき氣勢ある國を除いては、價格の變動はなきものと推測せられ居れり。

カルタルの契約は6月下旬に書換となりをり、それ以前に價格を變動せしむる如き事は無き筈なるも、其の期に至りて、一部市場に迎合せしむる様、幾分價格の變動を見るには豫想せられ居れり。

契約書換に關する重要なカルタルの會議が5月24日ローマに於て開催さるゝ豫定なるが、その間ベルギー業者は寄て相互の理解に努力する模様なり。

又此ローマ會議を機に、伊太利鐵鋼業界の特に興味を有すると見られ居るティンプレート・カルタル、インターナショナル・レール・メーカーズ・アソシエーション及びコミテ・ドウ・コントア等の間にも會議が行はるべしと稱せらる。

國際スタイル・カルタルの書換が豫想通りに行はるゝ場合に於ては、歐洲に於けるコールド・スタイル・フープのカルタルも同

時に成立を見るに至るべしと觀測せられ居れり。

此場合カルタルは次の如きクォータを各國に割當つる事になるやに豫想せられ居れり。

獨逸	50%	ベルギー	30%
佛國	12%	ルクセンブルグ	8%

## ブラツセル市況 (6月9日)

先週の終りになつて遂にボエル製鐵會社はコジベル加盟を持續することに同意した。コジベルの繼續は今やつきりと保證された。そして此の事は又同時に大陸鐵鋼カルタルや國際販賣事務局の繼續をも意味するのである。此の紛争に關してコジベルは一步も讓歩しなかつた爲、ボエルは己むなく以前と同じ生産割當を承認しなければならなかつたと言はれてゐる。ベルギーのメーカー間の統一が萬一破れるやうな事があれば、廣くヨーロッパ鐵鋼業界へのその悪影響は暫く措くとしても、ベルギー鐵鋼業界は少からざる打撃を受けるであらう。さういふ見地からベルギー政府は此の問題に大きな關心を有ち、愈々の場合には強權による干涉を以てしても此の紛争を解決しようとの態度をとつてゐると噂されてゐた。然し今般の解決には政府の裁定は無かつた。たゞ政府からボエルに對して強硬な警告が發せられたといふ程度の事はあつた模様である。斯うして大陸鐵鋼カルタルは6月30日に満期となり、そして1940年末まで更新されることとなるだらう。

此の事實は勿論メーカーや輸出業者に有利な印象を與へた。買手側にとつても亦、氣懸りの主な原因の一つが無くなつたことになる。成程、大抵の業者は現在の建値の機構に何等かの改訂が施されるだらうと考へて居り、從て買手の側からは價格の問題が尙今後に残されてゐるとせられてゐることは事實である。然し此の問題に就いてはカルタルの關係筋の人々の意見もまだ一致してゐないやうである。とにかくカルタルの全般的な委員會が6月17日から19日に互てパリで開かれることに定めてゐるのであるから、現在の此の不安定な状態もやがて解消するだらう。

今の處市場の活動はまだ眼に見えて激しくなつて來たとは言はれない。恐らく今週は聖靈降臨祭があつたので、その爲に取引が妨げられたといふ事もあるのだらう。その外に大抵の買手が將來の價格に關するカルタルの決定を持てゐて、その爲に買付けを控へてゐるといふことも勿論其の原因の一つだらう。

銑鐵 最近數週に互て盛んに賣りに出でゐる主な賣手の一が可成りの註文を取たので、市況はやゝ見直して來た。先週60志であつた鑄物用3號銑の輸出價格は62志6片乃至63志6片FOBアントワープに引き緊まつた。

半製品 メーカーは英國の輸入割當が正常的な額まで許可されるのを待てゐる。5月中のコジベル受註半製品 28,000 吨中 23,500 吨までは國內向であつた。そして英國半製品市場は飽和状態にある。

棒鋼 5月中全體の受註高は 32,000 t であつた。而もそのうち約 21,000 t は輸出向であり可成り満足す可き状態である。此の部門が比較的良い商況を呈してゐることは、兩壓延業者すら 1, 2 の例外を除いては共販建値通りの相場を唱へてゐることによつても知れる。

3番アイアンバー 情勢不變。平均相場は 6, 7, 6 (紙) FOB である。

形鋼 5月中の受註高總計 6,500 t, 中僅に 2,000 t が輸出向、4,500 t が國內向、これによつても輸出不振の情況が察せられ

る。

帯鋼 商況や、閑散、然し相場は變らず。

鋼板 最近トマス鋼板ロッテルダム、アムステルダム渡建値を 97 フロリン 50 から 95 フロリンに下げた爲か、オランダの買付けが幾分多くなつた。新しい出来事といへば、スエーデンの鋼板がバルト海沿岸市場で競争に出て來た事。5月の受注高總計は 9,100t、うち 3,350t だけが輸出向けである。

黒板 5月は新注は減少し、僅に 5,400t で、うち約 3,000t が輸出向であつた。再壓延業者は 25~30 志(紙)の値引きを許してゐる。

亜鉛鍍板 市場の情況はやゝ見直したやうであり、値引は 20~25 志(紙)に減少した。

**アメリカ市況 (6月6日)**

鐵鋼業に於ける一切の指標は依然として不活潑な状態を示してゐる。情勢轉換の期待に根據を與へるやうなファクターは何も表れなかつた。

消費者は當用買ひ以上に出ないといふ態度を頑強に持して居り、市場に表れる輕微の買付けは明らかに手持ちの不足分を補ふだけのものである。需要の重要な部分である所の自動車業及び鐵道業の買付けがすつかり杜絶したこと、並びに建築用鋼材に對する需要の甚しく減少したことは、啻に大きな需要減少を惹起したばかりでなく、尙其の上に之等の産業に依存してゐる他の副次的な諸産業の鋼材需要をも減退させた。事實、自動車及び鐵道附屬品製造業は、修繕及び補充の爲の外は餘り取引は得られなかつた。ローン設定による貨物船及び鐵道車輛建造用鋼材の購入契約に對する政府の認可の遲滯も亦メーカーを苦しめてゐる。その爲に可成の數量の鋼板その他の鋼材に對する注文が抑へられてゐる。

第 3, 4 半期の建値は一般に据置きの旨發表されたが、更にメーカーは最初のスケジュールに漏れてゐた諸品種に對する建値を次ぎ々に發表しつゝある。ポルト及びナットの建値は据置きとなるであらう。ストリップはベースを以前より 2 弗下に置き、値増及び値引表を改訂した。亜鉛鍍板に就いては、恐らく建値は据置きとして、同時に場合に應じて適宜値引をするといふ方法が採られるのではないかと考へられてゐる。

屑鋼價格は、5月既に底を衝いたかと思はれたが、先週は更に急激に下落し、製鋼用屑鋼は總べての中心市場に於て約 50 仙下落した。合成價格は之を反映して、先週から 58 仙下がつて 10 弗 75 仙となつた。屑鋼價格の軟化は銑鐵及び鋼の合成價格の 6 仙下落を齎した。即ち第 2, 4 半期の建値基準から計算すれば 38 弗 38 仙、第 3, 4 半期の建値基準からすれば 37 弗 55 仙である。鋼材合成價格は第 2, 4 半期の基準からすれば 61 弗 70 仙、新基準からすれば 59 弗 80 仙である。

(註) アメリカ市況は標記日附發行のスチール誌からの抄譯である。最後の合成價格の算出が如何なる方法によつて爲されてゐるかは不明であるが、市況の推移を知る上の參考にもと思つて其の儘記載して置いた。

**鐵育通信 (6月2日發信)**

米國鐵鋼輸入量に就て 世界最大の鐵鋼生産國たる米國の鐵鋼輸入に就てはネグリヂブルのものと思へ差したる關心を持たざりしが、試に最近に於ける趨勢を數字的に検討するときは概要次の通りとなる。

米國商務省内の Metals and Minerals Division の發表する所

に依れば、本年の輸入鐵鋼量は 1 月以來漸減の傾向を示し、4 月は稍増加す。即ち次の通り。

本年 4 月中	21,225 t	此價格	1,140,875 弗
〃 3 月中	11,600 "	〃	990,379 "
昨年 4 月中	56,484 "	〃	2,709,526 "

之によつて見るときは、4 月中の鐵鋼輸入高は 3 月中の輸入高に比し 9,625t の増加となり居るが、此の内 9,537t は銑鐵、鏡銑、シエーブ及シート増加に依るものにて即ち次の通り。

銑鐵の輸入増加	3,077 t
鏡銑の輸入増加	3,004 "
シエーブの輸入増加	2,350 "
シート	1,105 "
合計	9,536 "

而して前記輸入鐵鋼中最も重大なる役割を演じつゝあるものはシエーブ及銑鐵にして、鏡銑之れに次げり。即ち次の如し。

**シエーブ**

本年 4 月中	4,473 t (ベルギー 3,125 t, フランス 1,314 t)
〃 3 月中	2,123 "
昨年 4 月中	10,716 "

**銑鐵**

本年 4 月中	3,823 t (ノールウエー 2,988 t, 英印 500 t)
〃 3 月中	746 "
昨年 4 月中	6,469 "

**鏡銑**

本年 4 月中	3,204 t (全部カナダ産)
〃 3 月中	200 "
昨年 4 月中	1,240 "

**シート**

本年 4 月中	2,121 t (獨逸 1,434 t, ベルギー 683 t)
〃 3 月中	1,015 "
昨年 4 月中	1,063 "

**フープ及バンド**

本年 4 月中	1,579 t (ベルギー 960 t, 佛國 446 t, 獨 173 t)
〃 3 月中	724 "
昨年 4 月中	3,426 "

**スチールバー**

本年 4 月中	1,500 t (ベルギー 645 t, 佛國 411 t, 瑞典 216 t)
〃 3 月中	1,232 "
昨年 4 月中	7,145 "

今之れを輸入國別に見るときは、ベルギーよりの輸入量を以て最大としカナダ之に次ぐ、4 月中の總計次の如し。

ベルギー	6,624 t
カナダ	3,598 "
ノールウエー	3,267 "
獨逸	3,003 "
佛國	3,273 "

依て本年 1 月以降 4 月末迄の輸入總計を昨年のそれと比較して見るときは次表の通りにて、昨年に比し著しき減退を示せり。

**January through April 1938**

	t	Value
Pig Iron	17,670	\$ 304,581
Shapes	11,815	466,659
Steel pipe	10,750	1,002,085
Ferromanganese and Spiegeleisen	7,160	493,220
Barbed wire	6,233	357,561
Steel bars	6,228	442,634
Hoops and bands	5,762	234,429
Sheets, etc.	4,675	243,429
Nails, tocks, etc.	2,330	218,195
Wire rods	1,732	139,578
Total	74,385	\$ 3,911,556



## January through April 1937

	t	Value
Pig Iron	45,963	\$ 562,362
Shapes	34,047	998,282
Steel pipe	12,323	1,055,517
Ferromanganese and Spiegeleisen	17,257	1,112,708
Barbed wire	5,548	266,136
Steel bars	23,527	926,593
Hoops and bands	10,909	356,864
Sheets, etc.	5,635	229,431
Nails, tocks, etc.	7,552	453,924
Wire rods	5,982	466,198
Total	168,743	\$ 6,428,020

## 6月中鐵鋼市況

(上旬) 愈々棒形板共販物に對する口銭の最高、最低が規定され6月1日以降は現品、先物の如何を問はず、建値にその規定された口銭を加算した範囲内に於て商内せねばならぬ事となつた。

其の内容は次の通りである。(口銭は總て建値を基準とし、建値の幾パーセントを賣手の利益とすると云ふ具合になつてゐる。依て小賣向特約店最高口銭は建値の6%にして小賣向最高價格は建値の8.5%増となる。尙ほ小賣と云ふは1日、一契約、1t以内、要するに小口商内を謂ふ)

指定問屋—1~2.5%→特約店。 特約店—1~3%→實需

指定問屋—4~5.5%→實需。 特約店—1~6%→小賣

遂に統制の外力は此處まで及んだ。上と下とに門が入つたのである。

水揚、運賃及び之れに附帶する諸掛りは實費と加算する事になつてゐるのでそこから多少の差異は生ずるであらうが、小賣向けられる値段即ち建値の8.5%増を最高標準と定めた。同時に建値の1%増以下にての販賣は許されぬ事となつたのである。而も横の取引としては、實際には常に正直に半數が流下するか何うかは別として指定問屋受入れ市販分の半數を、指定問屋から特約店に向け得るに止まり、指定問屋間、特約店の仲間取引は嚴に御法度となつたのである。

豫て覺悟の上とは云へいざ此の制度が實施されるとなると、生れて始めて直面する天變地異であるだけに市場としては平然たり得ない。

多少なりとも動搖するのは當然である。加ふるに時を同じふして帝國瓦斯協會、日本土木建築請負業聯合會等の發行に係る鐵鋼使用證明書の走りが出始めて所謂切符制をも再認識せしめられたので一層慌てざるを得なかつた。

市場には掩ふべくもなく困惑、狼狽の様が窺はれる。

斯くて、市場は有史以來の大變革に遭遇したので、期せずして、進むよりは一步を退き、然る後おもむくに善處せんとする氣配が漲て、此處數日は開店休業の策を探る向が多く、商況は著しく不透明となつた。

尙ほ、久しく極端なる品拂底に圍繞され、それに時局の壓力が加はつて、既に所謂經濟的或は復、独自の立場等の動因からは離れ、動ぜざるの性根が充分に敲き込まれてゐるので、市場を底流する無物高と云ふが如き根強い動向は國家的強權の發動でも見ねば之を易々と改められぬらしく、事實特約店を含めば廣い市場の事として、特別なる場合のノミナルは依然として現れる一方制定値段に準據して鐵鋼使用證明書持參者に賣應する向が無くはないので、凡そ安いと云ふ事が出来る場合も見へて、全く渾沌、不透明なる商況を呈してゐる。

結局、法的統制、完全統制一步手前の自由加味市況の延長として、其の角度から強ひて市況を求められぬ事はないが、天變地異の時であるだけに、一時的混迷に陥り、從て無物高と公定値段の首鼠兩端を行き、之が所謂相場であると云て表現或し得る値頃を把握出来ぬ状態を現出したと見た方がよいやうである。

何れ強權が行使せられて商況は一轉簡明のものになるらしいが、今日に關する限り商況の實相は不明と言ふべきか。

(中旬) 今度こそは否應無しに縛られる、と思へば、證明書持參の大切な御得意、古い馴染には規定に準じて賣るであらうし、物が欲しくて飛び込んで来る向には相當掛けた値頃を出しもするであらう。

嚴格なる物資調整は確固不拔の國是であり、配給業者銃後護りの義務であると觀ずれば、使用證明書と規定値段を尊重するであらう。

泥鰌の下に柳として高をくまり、自由主義經濟的我執を出でなければ、此際と云ふ事になる。

現在は之に誌した三態が無いとは云へない。

それかあらぬか、市場は引續き商内少く、且高低兩極端を行き、相場と言へるもの無く、頗る不透明、消極的に推移してゐる。

が然し、觀ずるに、之れも長い事ではないやうに思はれる。

何となれば、現在の非常時局下に於て、鐵鋼の重要性を考へれば考へる程、

先づ軍需—配給調整—消費節約—價格統制—は不可避で、生産關係は勿論鐵鋼配給關係機關の國家管理又已む無しといふ事までも思はせられる。況して販賣業者のコミッション・マーチャント化、扱量の減少の如き優に起り得ると見ては悪いであらうか。

從て6月1日商工省より通達された使用證明書を尊重して商内を爲し、協力せよが更に一步を進めたならば、市場は無色透明、硝子の着物を着たやうなもので、値段も定められたる何某かを建値に加へたものになる率が非常に多いからである。

大地を打とも……と言て、力み返へる、それ程ではないが之れが何うも市場の明日の運命のやうに思はれてならない。

旬報子も180°轉換、マゴマゴすると轉業?

(下旬) 昭和13年6月20日商工省令第33號を以て鐵鋼配給統制規則が公布され、7月1日より施行の事となつた。

愈々規定された特別なる場合を除き、一般には使用證明書即ち切符が無ければ鋼材は賣買する事が出来なくなつた。

豫て覺悟をしてゐた事ではあるが、此の劃期的法令に現實直面すると、改めて周圍を見廻したり、更に思ひを新にせしめられたりする。

市場は、多くは規則の精神を理解してゐる事勿論であり、大手問屋筋には夙に進んで國策に協力するの實を示してゐる向が見えて、概して白装束の要意は出来てゐるとは云へ、それにしても大なり小なり衝動を感ぜぬわけには行かなかつた。尙ほ特約店層を含めれば廣い市場の事として中には自由主義經濟觀から抜けられずして、呪ひつゝ息を引き取るに似た形相を示してゐる向も有ると云ふ状態である。

一方需要家にも大分慌てた風情が有た。尤も大手筋や特殊筋には逆に問屋に賣る程の手當品を擁してゐて平然と構へてゐる向も有るが、概して先行の手當難を懸念し、從て品物の入手を先づ主眼とする傾向となつて、一層旺に漁り廻たやうである。その狼狽振りや鐵鋼界に疎ければ疎い程、又小さければ小さい程激しかつたやうであ

る。

尙復證明書も土建の證明書の如きは大分出たには出たが、他の證券團體未結成の爲め、大分不備のものが多くて、實際には流通してをらず従て市場として當然賣らねばならぬと云ふ義務を感じるのは矢張り軍需関係のもののみと云ふ切符状態の時でもあるので、市場の混線は依然として激しい。

自重、見送り、警戒、換金、無抵抗、買漁り、安値嫌ひ等々凡そ千姿萬態、如何にも維新の前夜なる哉の商状を呈してゐる。

斯くて、渾沌たる中に、自由主義經濟下の市場は過ぎ行くが、今度こそは事態を芯の髓まで見極めて對處せねばならない。ウカウカと臨まれぬ事を肝に銘じ、思ひを八方に致して凡ゆる方面を考へ、進む軌道を間違はぬやうにせねばならない。

折角築き上げた財産を大半失ふ事になる。つらい。ひどい……と云ふ前に折角1人前、5人前になつた息子を殺すとは言はず、喜んで一命を君國に捧げる人の如何に多いかと考へるべきである。

尤も 死んでも此の金渡されねえ—と云ふのであれば別であるが!!

尙ほ戦敗國支那大衆を見るがよい、數代粒々辛苦 折角築き上げた田地、田畑も、財産も家も、命までも一朝にして跡片も止めない。そうならないが爲めに消費節約、統制が是非共必要な鐵鋼界であると見ておいては悪いであらうか。

これは物心兩面を見ず、諸々の複雑、微妙なる彼我の條件を見ざる極く偏したる立場からの推定ではあるが、鐵鋼人としては彼我攻守處を代へる事無しとして増産、自由取引等々華やかなる場面のみを冀てゐてよいであらうか。

何れは増産の事があり、積極的躍進を約束されてゐるのではあるが、現在に關する限りは決して其の時ではない。

時局を恬として顧みないのは言語道斷として是れ程に統制せずともと云ふやうな近視眼の見方をするのよりは焦土抗戰にまで思ひを致し、萬策を講ぜざるを得ぬ事を想像して對處した方が遙に賢明且忠實であり、如何程現實に即應してゐるか分らない。

前線から歸る將士が、齊しく内地の緊張薄きを感じるやうであるが、忌憚なく言はしむれば、呑氣に過ぎ、認識不足に過ぎるとして一部に對しては内心聊か平らかならぬものが有るに違ひない。吾が鐵鋼界は決して其の對象となつてはならぬのではあるが、鐵鋼界關係全般が、此の批難を、確信を持ち大聲に撥き返へす事が出来るか、爆彈が、鐵砲玉が飛んで來ぬが爲に安逸に過ぎるのであれば、

現今の鐵鋼界人たるの資格が無い。須く慚死すべきとされる。

今日はそれ程迄に鐵鋼界に對する要求は峻烈であり、一步を誤れば自滅の外はないと知らねばならない。

斯る際なので、絶對的に必要なればこそ非常なる決心の下に乗り出した國家の需給調整策、價格統制策の如きには業果も亦異常なる決心を以て臨むべきであるのは言ふを俟たない。

切符制度を甘く見、價格關係を小馬鹿にして臨むのは、今度こそは自己抹殺以外の何物でもないと知るべきである。

尤も之れは問屋層に對してのみ言ふのではなく、中、小問屋の手前共の手持品は仕入値段が高いのでと云ふ言葉や、市場や實需家の元にゴロゴロしてゐる共販の賣出してをらぬ組合販賣品等を洗て行くと案外至る處から埃が出るので、元の元に互てまでも云へる言葉である。

今度こそは鐵鋼界全般が充分に心して臨まねばならぬ。

述べ來たつた處は甚だ抽象的であるが、本欄を讀まれる方々には之れで充分御賢察願へる事と信じて疑はない。

處で明日の市場は何うなるか。

横の取引は禁止される。在庫は己れの物にして從來のやうには己れの自由にならぬ。即ち切符を拜み、要と急を計て後、引當てる義務がある。價格は需給の變化に依りて構成されず、上部權力の命に依て定まる。先物の賣買にも殆んど禁止的の性質が生じて來る。等々從來の觀念に於ては全く殺人的窮窟と云ふべき状態となる。尙ほ當面の問題として手持品の値下り損、需要家の製品未完成に依る押せ押せの賣掛金の回收不如意等の事もあつて、誠に多事多難の一面は横たはつてゐる。

然しながら國策遂行上の片棒を擔いで、重大役目を負ふたのであるからそれ相當の面倒は見てもらへる筈である。聞く處に依ると從來よりは遙に内地市場に對する販賣機關としての重要性を認められ、從て最も懸念されてゐた扱量が最近のものよりは増加する筈との事であるから、此際復何をか言はんやである。

覺悟を定め、確たる國家的意識に立てば、來るべき市場は案外捨てたものではないのではあるまいか。

要は飽迄も事態を認識して臨むにある。自重、自愛、善處を願て止まない。

永らく馴染みを重ねた自由主義市場を明日の旅路に送るに當り、其の更生途上に過ち無きを希て此處に多言を弄した次第である。諒せられよ。

並本

東京大阪鐵鋼市中相場表

東大  
京阪  
6月8日  
6月18日  
6月28日

訂正考  
前單位一〇〇噸につき(置場値段)但し薄板は一枚當り、線材は一兩當り、ブリキは一兩當り。

		6月8日		6月18日		6月28日		6月29日	
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼	6mm	27.50	25.50	27.50	28.00	27.50	28.00	27.50	28.00
	9	25.00	23.00	25.00	23.00	25.00	23.00	25.00	23.00
	12	20.60~29.00	〃	20.60~30.00	23.70	20.60~29.00	30.00	20.60~29.00	30.00
	19	19.50~27.00	20.00	19.50~29.00	20.50	19.50~29.00	〃	19.50~29.00	〃
	25	〃	〃	19.50~28.00	〃	19.50~28.00	〃	19.50~28.00	〃
	50	22.20~31.00	31.00	22.20~30.00	31.00	22.20~30.00	32.00	22.20~30.00	32.00
角鋼	65	22.20~34.00	〃	22.20~34.00	〃	22.20~34.00	〃	22.20~34.00	〃
	130	36.00~43.00	49.00	36.00~45.00	49.00	36.00~45.00	49.00	36.00~45.00	49.00
	150	38.00~45.00	52.00	38.00~45.00	52.00	38.00~45.00	52.00	38.00~45.00	52.00
	200	〃	65.00	〃	65.00	〃	65.00	〃	65.00
	9mm	21.10~26.00	24.80	21.10~26.00	24.50	21.10~26.00	24.80	21.10~26.00	24.80
	12	〃	25.20	〃	〃	〃	30.10	〃	30.10
平鋼	16	〃	21.00	21.00~25.00	22.00	21.10~25.00	〃	21.10~25.00	〃
	19	21.10~25.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	38	21.10~32.00	28.00	21.10~32.00	29.00	21.10~32.00	29.00	21.10~32.00	29.00
	50	22.20~34.00	30.00	22.20~34.00	32.00	22.20~34.00	31.00	22.20~34.00	31.00
	65	22.20~36.00	36.00	22.20~36.00	36.00	22.20~36.00	36.00	22.20~36.00	36.00
	100	22.20~40.00	42.00	22.20~40.00	42.00	22.20~40.00	42.00	22.20~40.00	42.00
等邊山形鋼	3×25mm	27.00	25.00	28.50	24.70	25.00~28.00	24.80	25.00~28.00	24.80
	9×19	21.10~26.50	〃	21.10~27.00	〃	21.10~27.00	24.90	21.10~27.00	24.90
	6×25	〃	24.80	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6×38	〃	23.50	〃	22.00	〃	22.00	〃	22.00
	6×50	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6×75	22.20~27.00	24.50	22.20~27.00	24.70	22.20~27.00	24.50	22.20~27.00	24.50
不等邊山形鋼	9×100	22.20~28.00	〃	22.20~28.00	〃	〃	〃	〃	〃
	12×100	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	3×20×25mm	35.50	30.00	35.50	32.00	35.00	32.00	35.00	32.00
	3×25×25	34.50	〃	34.50	30.50	34.50	30.50	34.50	30.50
	5×40×40	20.60~26.50	〃	20.60~25.50	21.10	20.60~26.00	21.60	20.60~26.00	21.60
	6×45×45	20.60~21.50	21.10	20.60~21.00	〃	20.60~21.00	〃	20.60~21.00	〃
溝形鋼	6×50×50	21.10~28.00	21.60	21.10~28.00	21.60	21.10~28.00	22.10	21.10~28.00	22.10
	6×65×65	20.00~23.00	20.60	20.00~23.00	20.60	20.00~23.00	21.10	20.00~23.00	21.10
	9×75×75	20.00~21.30	〃	20.00~21.00	〃	20.00~21.50	〃	20.00~21.50	〃
	9×130×130	21.10~22.50	21.60	21.10~22.00	21.60	21.10~22.00	22.10	21.10~22.00	22.10
	12×130×130	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	15×150×150	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
工形鋼	9×50×75mm	21.10~23.00	22.20	21.10~22.00	22.20	21.10~22.00	22.60	21.10~22.00	22.60
	10×75×100	21.10~22.50	21.60	〃	21.60	〃	22.10	〃	22.10
	10×90×125	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	9×110×150	21.60~23.00	22.20	21.60~22.50	22.20	21.60~22.50	22.60	21.60~22.50	22.60
	12×100×150	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5×50×100mm	22.70~33.00	30.00	22.70~31.00	30.00	22.70~33.00	30.00	22.70~33.00	30.00
鋼板	6×65×125	22.20~33.00	〃	22.20~33.00	〃	22.20~33.00	〃	22.20~33.00	〃
	6×75×150	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	7.5×80×200	22.20~35.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	9×90×250	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	10×90×300	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5.5×75×150mm	22.20~35.00	30.00	22.20~33.00	30.00	22.20~33.00	30.00	22.20~33.00	30.00
薄鋼板(13板)	7×100×200	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	10×125×250	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	8×150×300	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	12×150×350	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	1.6×3'×6'	27.20	27.50	25.80~27.00	28.00	25.80~27.00	28.00	25.80~27.00	28.00
	1.6×4×8	30.00~33.00	31.50	26.90~32.00	31.50	26.90~32.00	32.00	26.90~32.00	32.00
	1.6×5×10	30.00~45.00	〃	28.00~45.00	〃	28.00~45.00	〃	28.00~45.00	〃
	2.3×3×6	30.00~32.00	〃	25.40~30.00	〃	25.40~30.00	〃	25.40~30.00	〃
	2.3×4×8	30.00~34.00	〃	26.40~34.00	〃	26.40~34.00	〃	26.40~34.00	〃
	3.2×5×10	30.00~45.00	〃	27.40~35.00	〃	27.40~45.00	〃	27.40~45.00	〃
	3.2×3×6	23.70~39.00	〃	23.70~39.00	〃	23.70~40.00	〃	23.70~40.00	〃
	3.2×4×8	23.70~47.00	〃	23.70~47.00	〃	23.70~47.00	〃	23.70~47.00	〃
3.2×5×10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
4.5×3×6	23.20~38.00	〃	23.20~38.00	〃	23.20~45.00	〃	23.20~45.00	〃	
4.5×4×8	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
4.5×5×10	〃	〃	23.20~40.00	〃	〃	〃	〃	〃	
6.0×4×8	23.20~40.00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
6.0×5×10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
9.0×4×8	22.70~30.00	〃	22.70~30.00	〃	22.70~31.00	〃	22.70~31.00	〃	
9.0×5×10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
12×4×8	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
ブリキ	川崎	1.05	1.00	1.12	1.00	1.15	1.04	1.15	1.04
	八幡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	米	170lbs	38.50	40.00	38.50	40.00	38.50	42.00	40.00
	英	200	39.50	41.20	39.50	41.20	39.50	45.20	42.00
W.W 200 薄口線材	170	38.00	41.30	38.00	41.30	38.00	43.50	38.00	43.50
	200	39.00	41.80	39.00	41.80	39.00	46.00	39.00	46.00
	170	38.50	37.80	38.50	38.50	38.50	40.00	38.50	40.00
	200	39.00	39.00	39.00	39.50	39.00	41.00	39.00	41.00
線材 B.W.G. # 5		200.00~230.00	270.00	200.00~230.00	270.00	200.00~240.00	270.00	200.00~240.00	270.00

## 日本鋼材聯合會關係各種組合所屬組合員一覽表

昭和13年6月14日現在 (○印は所屬關係を示ス)

日鋼聯合會員	組 合 名 組 合 員	鋼 塊	棒 鋼	形 鋼	鋼 板	帶 鋼	線 材	鋼 管	半製品	鍍力板	薄 板	組入組合員別加數
○	日本製鐵株式會社	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	9
○	日本鋼管株式會社	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	5
○	株式會社中山製鋼所	○	○	○	○	—	○	—	—	○	○	7
○	株式會社神戸製鋼所	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	4
○	株式會社吾孺製鋼所	○	○	○	○	—	○	—	—	—	○	6
○	株式會社尼崎製鋼所	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	4
○	大阪製鋼株式會社	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	3
○	大和製鋼株式會社	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	3
○	小倉製鋼株式會社	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	3
○	株式會社宮製鋼所	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	3
○	東海鋼業株式會社	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	3
○	住友金屬工業株式會社	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	3
○	德山鐵板株式會社	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	3
○	日本亞鉛鍍鋼業株式會社	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	3
○	株式會社川崎造船所	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○	3
○	鶴見製鐵造船株式會社	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○	3
○	大阪製鋁株式會社	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○	3
○	日本特殊鋼管株式會社	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	1
○	東洋鋼材株式會社	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	1
○	日曹製鋼株式會社	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
○	東京鋼材株式會社	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
○	富永製鋼株式會社	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	3
○	日本鋼業株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	1
○	東京製鐵株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	1
○	株式會社東洋製鋼所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	1
○	株式會社淀川製鋼所	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	2
○	中山鋼業株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	1
○	大阪中山鋼業株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	2
○	大阪薄鐵鋁製造株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	1
○	東洋鋼鋁株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	1
○	高砂鐵工株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	1
○	扶桑鋼業株式會社	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	1
	組合別組合員數	18	12	9	10	3	5	5	2	8	15	

特表

日鋼聯制定販賣價格表

	共販 ↓ 指定問屋	指定問屋 ↓ 需要家		特約店 ↓ 需要家		指定問屋 ↓ 特約店		特約店 ↓ 小賣		エキストラ	備考		
		最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高				
丸鋼	小形 9mm, 22, 25, 28, 32 6 8, 9 12, 13 16 36~48	185	192.40	195.17	188.7	195.19	186.85	189.62	188.70	200.72	倅鋼ベース 20 30 10 5 10	小形丸 50mm 未滿	
		205	213.20	216.27	209.10	216.27	207.05	210.12	209.10	222.42			
角鋼	中形 50~100mm	210	218.40	221.55	214.20	221.55	212.10	215.25	214.20	227.85	25	中形丸 50mm 以上 100mm 以下	
		200	208.00	211.00	204.00	211.00	202.00	205.00	204.00	217.00	15	小形角 50mm 未滿	
平鋼	中形 幅 65mm 以下 70~130mm	210	218.40	221.55	214.20	221.55	212.10	215.25	214.20	227.85	25	中形角 50mm 以上 100mm 以下	
		200	208.00	211.00	204.00	211.00	202.00	205.00	204.20	217.00	15	小形平 65mm 以下	
等邊山形鋼	小形 A 級 B 級 C 級	215	223.60	226.82	219.30	226.82	217.15	220.37	219.30	233.27	25	山形ベース 15 10 10 13	小形等山 50mm 未滿 (A級 (3×20) B級 (3×25) (3×30) (3×40) C級 (5×30) (5×40) (4×45) (6×40) (6×45)
		205	213.20	216.27	209.10	216.27	207.05	210.12	209.10	222.42	15		
		195	202.80	205.72	198.90	205.72	196.95	199.87	198.90	211.57	5		
	190	197.60	200.45	193.80	200.45	191.90	194.75	193.80	206.15	10			
中形	65~100mm 4×50 6×50 8×50	215	213.20	216.27	209.10	216.27	207.05	210.12	209.10	222.42	15	中形等山 50mm 以上 100mm 以下	
		200	208.00	211.00	204.00	211.00	202.00	205.00	204.00	217.00	10		
大形	100mm 超 200×200	200	208.00	211.00	204.00	211.00	202.00	205.00	204.00	217.00	10	大形等山 100mm 超	
不等山	中形 65×50~ 125×90	200	208.00	211.00	204.00	211.00	202.00	205.00	204.00	217.00	10	100mm 以上 100mm 以下 の和を 含む 125×90mm を除外 200mm 超 125×90mm を除く	
		205	213.20	216.27	209.10	216.27	207.05	210.12	209.10	222.42	15		
工形鋼	大形 100×75 以上 400×150 450×175 20''×7½'' 24''×7½''	210	218.40	221.55	214.20	221.55	212.10	215.25	214.20	227.85	工形ベース 2 3 3 6	大形工形 高 100mm 以上	
		212	220.48	223.66	216.24	223.66	214.12	217.30	216.24	230.02			
		213	221.52	224.71	217.26	224.71	215.13	218.32	217.26	231.10			
		213	221.52	224.71	217.26	224.71	215.13	218.32	217.26	231.10			
		216	224.64	227.88	220.32	227.88	218.16	221.40	220.32	234.36			
溝形鋼	大形 125×65mm 以上	210	218.40	221.55	214.20	221.55	212.10	215.25	214.20	227.85	溝形ベース 5 5	中形溝形高 50mm 以上 100mm 以下	
		215	223.60	226.82	219.30	226.82	217.15	220.37	219.30	233.27			
鋼板	中形 1.6mm 3 4×8 5×10	245	254.80	258.47	249.90	258.47	247.45	251.12	249.90	265.82	1.6mm ベース 10 20	中鋼板 1mm 以上 6mm 未滿 1.6, 2.3 の 3×6 はベースと は云はざるも便宜上之をベー スとす	
		255	265.20	269.02	230.10	269.02	257.55	261.37	260.10	276.67			
		265	275.60	279.57	270.30	279.57	267.65	271.62	270.30	287.52			
	3	3×6 4×8 5×10	240	249.60	253.20	244.80	253.20	242.40	246.00	244.80	260.40	2.3mm ベース 10 20	3.2mm, 4.5mm, 6mm は 3'× 6', 4'×8' 5'×10' は同値
			250	260.00	263.75	255.00	263.75	252.50	256.25	255.00	271.25		
			260	270.40	274.30	265.20	274.30	262.60	266.50	265.20	282.10		
	板	3.2mm 4.5	225	234.00	237.37	229.50	237.37	227.25	230.62	229.50	244.12	10 5	3.2mm, 4.5mm, 6mm は 3'× 6', 4'×8' 5'×10' は同値
			220	228.80	232.10	224.40	232.10	222.20	225.50	224.40	238.70		
	厚板	6mm 超~25 未滿 25~35 35 超~40 40 超~45 45 超~50	220	228.80	232.10	224.40	232.10	222.20	225.50	224.40	238.70	5	厚鋼板 6mm 以上
			215	223.60	226.82	219.30	226.82	217.14	220.37	219.30	233.27		
225			234.00	237.37	229.50	237.37	227.25	230.62	229.50	244.12			
235			244.40	247.92	239.70	249.92	237.35	240.87	239.70	254.97			
245			254.80	258.47	249.90	258.47	247.45	251.12	249.90	265.82			
255	265.20	269.02	260.10	269.02	257.55	261.37	260.10	276.67	40				

注意 販賣店の賣値は別に水揚運賃其他諸掛りを加算す。

持表

昭和13年6月中發表各種先物建値表

(其の1)

(其の2)

所屬別	區分 種類	建値 月日	積 月				備 考
			6,7 月積	8,9 月積	10,11 月積	7月積	
棒鋼 共販	丸鋼ベース	6-23			185	据置	
	小形 角鋼	"			200	"	
	小形 平鋼	"			200	"	
	中形 角鋼	"	"			210	"
		"	"			210	"
形鋼 共販	小形山形鋼(ベース)	6-24			195	据置	
	中形山形鋼(等邊)	"			190	"	
	中形山形鋼(不等邊)	"			200	"	
	大形山形鋼(等邊)	"			200	"	
	大形山形鋼(不等邊)	"			205	"	
大形溝形鋼	"	"			210	"	
	"	"			210	"	
鋼板 共販	耳付 小形	ベース	6-24			185	据置 シーヤ及問 屋向値段
		6mm	"			190	
		4.5	"			190	
	大形	ベース	"			195	
		6mm	"			200	
		4.5	"			"	
	定尺	ベース	"			215	
		6mm	"			220	
		4.2	"			220	
		3.2	"			225	
薄板 共販	31番 3'×6' (13枚入)	6-10				建値未定	
	30" 3'×6' (12枚入)	"					
	29" 3'×6' (11枚入)	"					
	28" 3'×6' (10枚入)	"					
	27" 3'×6' (9枚入)	"					
	26" 3'×6' (8枚入)	"					
	25" 3'×6' (7枚入)	"					
	24" 3'×6' (6枚入)	"					
	22" 3'×6' (5枚入)	"					
	20" 3'×6' (4枚入)	"					
販	18" 3'×6' (3枚入)	"					
	1'6mm×3'×6'	"					
	2×3×6	"					
	2'3×3×6	"					

所屬別	區分 種類	建値 月日	積 月			備 考
			6,7 月積	7,8 月積	7月積	
線材 共販	5.5mm	6-23		190		据置
	6mm	"		188		"
	太番 7~13mm	"		220		"
	熔接用	"		245		"
	低炭素用	"		230		"
	半硬鋼	"		240		"
	硬鋼 A	"		260		"
	硬鋼 B	"		250		"
	電信線用	"		230		"
	合錠装	"		220		"
帯鋼 共販	厚さ幅 0'9~1	19~24mm	6-15	285		据置
		25~35	"	275		
		36~85	"	260		
		86~105	"	270		
		"	"	"		
	1'1~1'3	19~24	"	280		
		25~35	"	265		
		36~49	"	255		
		50~121	"	250		
		122~150	"	255		
	1'4~2	151~160	"	260		
		19~24	"	270		
		25~35	"	255		
		36~49	"	250		
		50~121	"	245		
2'1~2'5	122~150	"	250			
	151~170	"	255			
	25~35	"	255			
	36~49	"	250			
	50~121	"	245			
2'6~3	122~150	"	250			
	151~170	"	255			
	25~35	"	255			
	36~49	"	250			
	50~121	"	240			
鉄力板 共販	200 lbs	6-11			建値未定	
	170 "	"				
	石油鑛用銅板 天地板	"				
半製品 共販	鋼塊	6-13		150	据置	
	鋼片	"		165	"	
	ブルム	"		165	"	
	スラブ	"		170	"	
	シートバー テインバー	"		180	"	

訂正 第114號掲載の昭和13年5月中發表各種先物建値表の中線材共販の積月は6,7月積の誤につき訂正す。